

# てくてく北九州

発行所:西日本新聞北九州本社 北九州市小倉北区田町19-5 編集部☎(541)9300

次回発行2月6日(日)



## 創刊のご挨拶

卯年も明け、厳しい寒さが続いております。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

私ども西日本新聞社は昨年10月、北九州本社を発足させました。地域の津々浦々まで歩き、地域とともに考え、「西日本新聞なら何でも知っている」と信頼していただけるよう努力しております。このミニコミ(地域情報)紙は、その一環として創刊しました。生活に役立つ情報や身近な話題を取り上げ、楽しい紙面にしたいと考えておりますので、ご期待ください。紙面に対する感想やご要望もお待ちしております。



西日本新聞北九州本社代表 植谷忠貢

ふれあい朝市(北九州市八幡西区茶屋の原4)  
開催日:毎週火曜日9:00~10:00



毎週、午前9時の販売開始前から長蛇の列が並び、1時間を待たずに売り切れ続出の盛況ぶり。今では買い物だけでなく、住民同士が顔を合わせて心を繋ぐサロン代わりとしても活用されています。

旬の野菜や季節の果物、鮮度抜群の魚介類が所狭しと陳列台に並び「ふれあい朝市」。近隣から大勢の住民が集まり、まるでお祭りのような賑やかさです。朝市が行われている場所は、実は元スーパーの軒先。2004年にこのスーパーが撤退した後、車を運転しない団地の高齢者は日常の買い物にも困るようになりました。そこで自治区会の吉川三十郎会長(75)達が知恵を凝らし、2009年4月に朝市をスタート。スーパーの厚意で場所代は無料、そのため商品も市価の2~3割は安く、地元の人々がつくった採れたての品々なので品質も確かです。

八幡西区の茶屋の原団地自治区会では、毎週火曜の午前中に「ふれあい朝市」を開催中。会場設営からチラシづくりなど、運営はすべて自治区会の手で行われ、商品を出すのも売るのも地元農家などが主体。素朴で温かい名物朝市です。

## 笑顔で支え合う ふれあい朝市

# おでかけガイド

北九州

情報募集!あて先は中面参照

### 学 ぶ

■男2代の子育て講座受講生募集  
2月20日(日) 午前10時20分~午後4時30分、子どもの館(八幡西区黒崎)で。おじいちゃん、おとうさん、男親2世代で楽しく子育てを学びます。オムツの当て方や着替え、ベビーマッサージなどの実技を交え基本的な知識や技能を習得し、講座終了時におじいちゃんに「ソフリエ」、お父さんに「パシエ」の資格を認定します。対象1歳未満および1年以内にお子さんが誕生予定のおじいちゃん・おとうさん。定員20名、参加費500円(食材費)。  
問・申込 同施設 ☎093・642・5555へ。

入館料大人300円、中学生以下150円(4歳未満は無料)。  
問 同施設 ☎093・322・1006へ。

### 聞 く

■明治の錦絵と天皇  
―民衆が初めて見た天皇の姿―  
2月13日(日) までの午前9時~午後5時(入館は午後4時半) 北九州市立小倉城庭園(小倉北区城内)で。天皇と天皇にまつわる人々や出来事を描いた明治時代の錦絵を108点(前期54点、後期54点)展示。一般300円、中学生150円、小学生100円。  
問 同施設 ☎093・582・2747へ。

### 見 る

■県指定無形民俗文化財  
和布刈神事  
2月3日(木) 午前2時半ごろから、和布刈神社(門司区大字門司)で。旧暦元旦の早朝3人の神職が狩衣、烏帽子、白足袋、わら草履の姿で約3メートルの大きなたいまつに先導され関門海峡へ入り、岩に付いたわかめを取り、神殿に奉納し、航海の安全と豊漁を祈願します。  
問 同神社 ☎093・321・0749へ。

### 聞 く

■「窓の彼方へ」  
2月11日(金・祝) 午後2時から、北九州芸術劇場中劇場(小倉北区室町)で。世界的ピアニスト仲道郁代演奏のショパン楽曲と演劇のコラボレーション。演奏曲は「英雄」「別れの曲」ほか。出演は仲道郁代(ピアノ)、重定礼子、阪上洋光、福重友ほか。料金一般2500円、ユース(24歳以下※要身分証明書提示)1500円。※当日500円増  
問・申込 同施設 ☎093・3562・2655へ。

### 企 画 展

■企画展「新幹線特集」  
2月1日(火)~3月31日(木) 午前9時~午後5時(入館は午後4時半まで、最終日は正午まで。第2水曜休館)、九州鉄道記念館本館2階企画展示コーナー(門司区清滝)で。鹿児島中央~新大阪間を直通運転する「さくら」をはじめ「みずほ」や800系「つばめ」など九州と山陽新幹線の写真や記念グッズなど約150点展示。

### 情 報 募 集!

「おでかけガイド」に、地元の情報やあなたの活動しているサークルなどの発表会、展示会などを告知しませんか?  
掲載希望の方は、郵送、FAX、メールで(宛先は中面参照)、イベント名、イベントの内容、実施日時、会場、定員(締切)、料金、問合せの電話番号、担当者名などをご記入ください。掲載の場合は、編集部から連絡します。※イベントなどの実施日の1か月前ぐらいまでにお知らせください。

紙面 DE ツイッター

# 「節分の思い出」

▼子どもがあまりにも鬼をこわがりすぎて保育園に行けなくなった。いまでもトラウマになっているらしい。(サラママ 35歳)

▼我が家は住宅街の一番高い位置に建っているのですが、父が毎年、外に向かって大声で「鬼は外!!」といいながら豆をまくので、恥ずかしい……、いまだにまいている。もう64歳になる。(ヒ

▼昔、母親が節分用の豆が売り切れていた時、おつまみ用の塩味のグリーンピースを買ってきたこと。またかどうかは記憶にないです……。 (たかぼん 37歳)

▼我が家では、豆まきの時、お金とお菓子を混ぜて巻いて、家族で拾い合います。(miedayo 52歳)

▼子どもが小さいときに、「ママ、見て見て」とニコニコしながら、豆を鼻の穴に入れて見せてくれたけれど、取れなくなっ



て、かなりあせったことを思い出します。結局ピンセットで半分ずつ取り



ました。(ふうふう 41歳)

▼恵方巻きを初めて食べたときは、その大きさに驚いた。しかし、食べてみると、意外や意外、食べられた。(まるちゃん 61歳)

3月のお題は「寝言」です。ご自分はもちろん、家族、友だちのおもしろい寝言を教えてください。お待ちしています。投稿は左下「西日本新聞てくてく」編集部まで。

会場：北九州市立商工貿易会館 **こんにちは**  
日時：2月19日(土) **西日本新聞です**

## 病は口回りから防ごう 命の入り口セミナー

口回りや呼吸法に気をつけて、病気にならない医療を目指そう。西日本新聞北九州本社発足を記念した第4回命の入り口セミナー「食卓の向こう側～口は命の入り口」が2月19日午後1時30分～同4時30分、小倉北区古船場町の北九州市立商工貿易会館で開催されます。



あいうべ体操をする今井さん

舌と口を動かす「あいうべ体操」で免疫力を高める治療を進める内科医の今井一彰さん、80歳でも20歳と一緒に食事ができる「新8020運動」を提唱する小児歯科医の岡崎好秀さん、西日本新聞の佐藤弘編集委員が出演します。参加無料。



歯を若く保つ運動を進める岡崎さん

申し込みは、住所、氏名、電話番号を記入の上、はがき、ファクス、メールで下記へ(1通で2名まで。応募多数の場合は抽選)。締め切りは2月5日(必着)。はがき=〒803-0817 北九州市小倉北区田町19-5

西日本新聞エリアグループ北九州事務局内「第4回 命の入り口セミナー」係  
電話=093(592)6268  
FAX=093(571)7946  
メール=ag.kitakyusyu-oku@triton.ocn.ne.jp  
※入場証はエリアセンター(販売店)からお届けします。

### プレゼント



「夕刊を読む女。」  
石丸美奈子著  
本紙エッセー「地元☆パラダイス」の筆者、石丸美奈子さんの著書「夕刊を読む女。」を20名様に。小倉で颯爽と生きる女性ならではの鮮やかな切り口に、脱帽!

**応募要項** 〒住所、氏名、年齢、電話番号、今号で興味のある記事もしくは今後取り上げてほしいテーマをご記入の上、下記あて先へ。2月4日(金)必着。  
■はがき・封書での応募  
〒803-0817 北九州市小倉北区田町19-5 てくてく事務局 1月30日号「プレゼント」係  
■FAXでの応募=093(561)6343  
■メールでの応募=kitaq@nishinippon-np.jp

※プレゼント当選の発表は、最寄りのエリアセンターからのお届けをもって代えさせていただきます。ご記入いただいた個人情報は事務局の提供するサービス、イベント告知などに使用することがあります。

★各コーナーへの投稿や情報提供は、下記編集部まで  
■はがき・封書での応募  
〒802-8566 小倉北区米町2-2-1 新小倉ビル本館1F  
■FAXでの応募=093(541)9306  
■メールでの応募=tekuteku@lisa.co.jp  
「西日本新聞てくてく」編集部 ☎093(541)9300

# 地元☆パラダイス。

## vol.0 「生まれも育ちも。」



石丸美奈子プロフィール  
コピーライター  
1959年北九州市生まれ  
西日本新聞北九州本社  
アドバイザー、(財)北九州市芸術文化振興財団理事、(株)北九州モノレール社外取締役、北九州市立大学経営審議委員、西日本工業大学客員教授・評議委員、TNCテレビ西日本報道番組「キューブ」レギュラーコメンテーター

**見** た目が少々バタ臭く(身長172cm&茶髪&サンングラス常用)一言動が若干非常識(えいと、態度がデカく、かつ物言いが超ストリート)らしく、しばしば「イシマルさんって帰国子女ですか?」と尋ねられるんだけど。  
何を隠そう、真正正銘、北九生まれの北九育ち(厳密には、小倉)でござんす。  
で、ふと気付けば、半世紀以上、この街に暮らしておる。  
「二度も、脱出を試みなかったんですか?」  
ん、まあ、フツー、多少の志あらば、進学や就職、結婚を契機に故郷を飛び出すものだよな。  
特に若い頃は。親元から離れたい一心、とか、こんな何もない田舎町は嫌だ、とか、で。  
そーねー。30年位前、プチ脱出してみたことはあるけど。速やかに戻ってきた。  
その時、悟ったんだ。ああ。ワタシは、この街以外のところでは、生きていけないカラダなんだ、と。何故か。  
北九州市。昔は、石炭積出港、大工業地帯、鉄の街、公害の街。最近では、暴力団、生活保護、孤独死、超高齢化……。  
環境首都とかレトロ以外には、ほとんどいいイメージがないこの街に、どんな魅力が?  
生まれ育った場所にずーっと居続ける、土着民の生活&主張って? てなところを、つらつら書きながら一緒に考えてみようか、な企画な訳です。  
まあ。それでも。ここに軸足を置きながら、海外や国内は、かなり、旅してきたんだ。  
ほら、外への扉は、絶えずオープンにしておきたいからね。  
「ああ、なるほど。それで、イシマルさんのBFは、よそのヒトばかりなんですか?」

●●● 集まれ元気キッズ! ●●●

# KID'S PAPER

昭和28年の開園以来、御仏様のみ教えのもと、「心の教育」の追求と育成を基盤に、一人ひとりの個性を尊重した保育を実践。純真でのびのびとした心豊かな子たち約90名の元気な声が園庭に響きます。



宗教学 教学寺 教学寺幼稚園

北九州市戸畑区新池2-10-1 ☎ 093(871)4213 ホームページアドレス <http://www.ans.co.jp/k/kyougakuji/>

## 全園児が仲良く一緒に交流

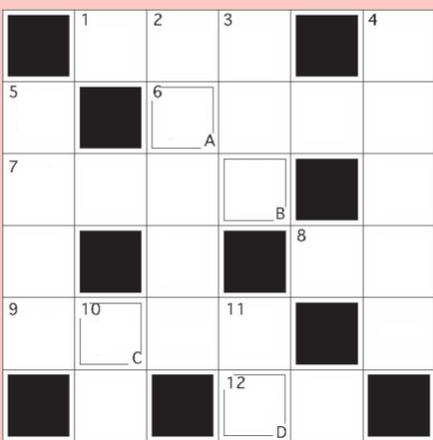
外遊びは全園児が外に出て遊ぶ、縦割りグループでの異年齢交流など、アットホームな雰囲気の特徴で、たくさんの子どもたちとのコミュニケーションを大切にしています。園全体で成長を見守り、先生方の愛情

に包まれて、園児の笑顔もキラキラと輝いています。元気がいっぱい、「なんでも？」と「ありがとう」を大事にしている年長の「ひばり組」さん。2クラスあって、クラスに関係なくとも仲が良く、「元気にあ

さつをする」を頑張っている年中の「はと組」さん。幼稚園のかわいいアイドルで、「幼稚園大好き」を目指し、成長真っ最中の年少「ひよこ組」さん♪

今は、2月11日(金・祝)にウエルとばた大ホールで行われる発表会に向けて、皆が力を合わせて頑張っています!

## 頭の体操



ヨコ▲1. 汚れた水のこと 6. 漫画・アニメの主人公「○○○○アトム」 7. 「点検すること」を英語で言うと? 8. 「パブル」の日本語は? 9. 肉を焼いた料理 12. 小学校で覚える、かけ算の呼び名

タテ▲2. 耐水性で粘着力が強いシールのこと 3. 「ひとことひとこと」のことを「一言○○○」という 4. 「人の力」を英語で言うと? 5. 書類を針で綴じる文房具 10. 除夜の鐘を鳴らす場所 11. 50円硬貨にデザインされている花は?

4±4±:々景

## 心のストレッチ Vol.0

### お母さんの愚痴にうんざり

不思議なことですが、同じ内容のご相談を立て続けに受けることがよくあります。母親の愚痴が耐えられない、口喧嘩が絶えないというお話をよく聴く機会がありました。他人と違い冷静に対応できないのが家族。どこかで理想の母を求めているからこそ意見してしま

う。母と娘の心のクセはよく似ているので、鏡を見るような辛さも加わり、遠慮なく言い合える関係が後押しして言い争いになる。非常に多いケースだと思えます。

でも、カウンセリングをしていて思うのです。その人自身の中で消化で

日本メンタルヘルス協会公認  
心理カウンセラー 松井美由紀  
個人カウンセリング、企業カウンセリングの他、北九州市ではココリセ子育てセラピーを、苅田町ではコミュニケーション講座を開催。  
ココリセラピー代表<http://www.cocorise.com/>。日本メンタルヘルス協会<http://www.mental.co.jp/>

きないつらい感情がひしめき合って、愚痴となつてこぼれてしまうこともあるのだと。愚痴の内容ではなく、その言葉の背景にある寂しさや、やるせない、日々の疲れなどの切なる心情に焦点を当てたい。受け入れたい。

カウンセリングの回数を重ねた一人の相談者さんが、ある時こんなことを教えてくれました。「ふと気づいたんです。母のマイナス思考が嫌で仕方なかったけれど、そうなるほど母はずっと苦し

かったんだと。感謝されることなく、舅姑からは嫌みを言われ続けて…。そう考えたら聴くのが苦痛でなくなりましたね。うんうん、大変だったね、ありがとうって言ったら、お母さん、びっくりして目を潤ませて…」

目立たず賞賛もされないうけど、必死に家族を支えてきたお母さんのたったひとつの人生を娘の自分だけは認めてあげたい。感謝したい。本気でそう思ったとき、お母さんの心は報われたのでしょうか。

意見するのではなく気持ちをお母さんへ伝える。ただそれだけのこと、相手の心を、そして自分の心までもほっこり癒せるものですね。数カ月後、母娘共に愚痴が少なくなったと、嬉しい報告を頂きました。

# てくてく遠賀・中間



発行所:西日本新聞北九州本社 北九州市小倉北区田町19-5 編集部☎(541)9300

次回発行2月6日(日)

## 子どもの笑顔が溢れる 図書館でのおはなし会

遠賀町立図書館で毎週土曜日に行われている「おはなし会」。遠賀町内の4つのボランティアグループと、図書館スタッフが持ち回りで開催する絵本の読みかせです。1月15日、「えほんばこ」担当のおはなし会にお邪魔してきました。



午後2時半。図書館内のおはなしの部屋には10人以上の子もたちと、その親御さんが集まりました。読みかせの間に手遊び歌も盛り込まれるなど、楽しさに満ちた30分のプログラム。絵本の読み手もそれぞれに工夫を凝らし、じつと耳を傾ける子どもたちは揃って笑顔です。

おはなし会には他に「青い麦の会」「おんがにじの会」「ずくぼん」が参加しています。どのグループも、活動の根底にあるのは「子どもたちに絵本を好きになってもらいたい」「親子で本を読むきっかけにしてほしい」というシンプルな思い。それぞれに歴史と活躍の場を持つ各グループが図書館のボランティア会議を通して交流し、お互いに刺激を与えあっているようです。読書活動に熱心な遠賀町には町民の力が生きています。



渡辺 益弘さん(41)

遠賀郡岡垣町在住、会社員。趣味はボランティア。「人が大好きで、おせっかい焼き(笑)。今年は笑顔に満ち溢れる年にしたいです」

## サークル紹介

### 「アロマテラピー講座」



第1、3、4木曜日にアロマテラピー検定の公式テキストを使った本格的な講義が行われています。それぞれの精油の効能や薬効を学んだり、好みの精油を使ってルームスプレーを作ったり。講師、尾形純子さんを囲む参加者たちが和気あいあいと香りに触れ、笑顔を見せるのが印象的でした。

- 場 所/岡垣サンリーアイ 遠賀郡岡垣町野間1-2-1
- 連絡先/093(282)1515
- 参加費/教材費1万2600円 材料費各回1000円~1500円

## 行ってきました 00見てきました



1月12日、芦屋町中央公民館調理室にて。別室で子育てボランティアさんに託児してもらったお子さんも合流し、親子揃っての試食タイム。

### 友人づくりと調理力アップ 「ママの料理教室」

芦屋町の子育て支援センターと健康づくり係が共同主催した「ママの料理教室」。この日は10組の親子連れが参加しました。メニューはツナときのこの炊き込みごはん、しゅうまい、具だくさん中華スープ、カルピス寒天の4品。材料の切り方や用具の扱い方、調味料を入れるタイミングの音が聞かれました。

今年で30回目を迎えた「ふるさと遠賀川親子凧あげ大会」。あいにくの悪天候のため河川敷での凧あげができず、中間市はたらく婦人家で凧の審査会が行われました。遠くは鹿児島や長崎から駆けつけたたくさんの方の会、凧愛好会の面々がひとつづつの作品を見てまわり、凧の会審査員特別賞、最優秀賞、優秀賞、技術賞やファミリー賞が決定されました。受賞者の名前が呼ばれるたびに大きな歓声がわき起こり、賞状を受け取る子どもたちは誇らしげな笑顔を見せていました。



1月16日に開催。自ら作った凧を前に自ら作った凧の前に、審査を待つ子どもたち